

と半減したことが目立つ。

大学設置主体別に見ると国立大学(14大学)卒業生は465人、公立大学(3大学)卒業生は227人、私立大学(54大学55学部)卒業生は8799人と6年制卒業生の93%が私大卒であった。

薬局への就職者3601人のうち、国立大学は121人(卒業生の26.0%)、公立大学29人(12.8%)、私立大学3451人(39.2%)であり、私大では約4割が薬局に就職した。

病院・診療所薬局への就職者2666人の内訳は、国立大163人(卒業生の35.0%)、公立大学87人(38.3%)、私立大学2416人(27.5%)で、昨年度と比べ公立大のみが増加した。

一方、ドラッグストアなど一般販売業には国立大が6人、公立大15人だが、私立大は661人(7.5%)と就職率も高かった。

保険薬局編 薬局数は増加、チェーンは再編へ

厚労省の直近の発表「2012年度の衛生行政報告例の概況」によると、全国の薬局数は5万5797店舗。11年度末時点で5万4780店舗と1000店舗ほど増加、その前年度も1800店舗近く増加しており、ここきて店舗数が再び増加の兆しだ。店舗数増加が続く要因は分業率の伸びがある。全国的には平均60%半ばを超え、そろそろ「70%分業」が視野に入り、伸びそのものは鈍化しているともいえる。ただ、80%を超えている地区がある一方で30~40%台という地区もあり、次第に平準化に向けて伸びているため、分業率が低い地域を中心に新たな薬局が進出している状況といえる。

その一方で、寡占状態になっている地域では、長期処方の増加、患者1人当たりの来局回数が減り、その分、薬

局収入が減少、伸び悩む状況もあり、後発医薬品のストックなどの経済的要因も重なり、体力がない薬局から脱落していくとの見方もある。

個店や3~4店舗など小規模薬局では小回りが利くが、厚労省がいうチェーン薬局の“基準”である20店舗前後の薬局チェーンが大手に比べ非効率なため、M&Aの対象となっている。単に大手の傘下に入るというだけでなく金融系、他の流通系、医薬品卸系など多様な業種も入り交じりながら、その様相は大きく変容するものと見られる。

さて、2年に一度行われる診療・調剤報酬改定(2014年度改定)に向けて、薬局への風当たりが強まっている。値上げを求める医療側に対し、健康保険組合等の支払側は財政悪化が続く中で「適正化」を、財務省は医療費の引き

下げを狙っている。全体として薬局に対する視線は厳しさを増している。

「薬局・薬剤師業務がその報酬と見合っているのか」「本当に医療に役立っているのか」といった、業務そのものに対する疑問の声も少なくない。

一方、医療費削減という観点からも未病、つまり健康なうちに、薬局が市民と関わり、病気にならない環境を整えようという先駆的な取り組みの必要性も指摘される。また、在宅医療推進の一翼を担うことも期待されている。その変化の兆しを横目で見ながら、薬剤師として、目の前の患者に本当に役立つことを着実に実施していくことが、将来の薬剤師を生かす道といえる。他職種からの要求に耐え得るキャリアアップが生涯を通じて望まれる。

なりたい薬剤師像を持って

フタツカ薬局西舞子店 斉藤悠さん

「患者さんから、『いつもありがとう』と声をかけられるたびに、薬剤師としてのやりがいを感じています」と語る斉藤悠さん。2012年3月に徳島文理大学薬学部卒業後、兵庫県下を中心に関西圏内で調剤薬局チェーンを展開する大新堂(フタツカ薬局グループ)に入社。今年4月に勤務3年目を迎える。

現在、世界最長の吊り橋として知られる明石海峡大橋を臨むフタツカ薬局西舞子店で、近隣クリニックからの処方箋調剤のほか、個人や施設へ薬の配達や投薬など、在宅医療の現場で、患者から信頼される薬剤師として活躍中である。

薬学6年制薬剤師の第1期生である斉藤さんは、身内に医療関係者の存在もあり「自身の中でも医療に携わる仕事がしたいと考え、薬学部への進路を決めた」という。

元来、人と接して話をすることが好

きな性格という斉藤さん。長期実務実習先の薬局で、薬の話から健康アドバイスまで、地域の中に根ざした取り組みを展開している様子を体験。自身が目指す薬剤師のイメージが大きく膨らんだ。

斉藤さんは、在宅医療に携わりたいと考え、熱心に取り組んでいるフタツカ薬局グループへの入社を決めたという。現在、勤務する西舞子店は約20年前に開局。近隣の皮膚科からの処方箋調剤を中心に、広域医療機関のほか、近隣有料老人ホームへの配薬管理などの在宅医療も手がけている。

入社以降「処方箋調剤中心のイメージもありましたが、在宅医療での医師との往診同行など、チーム医療の中の薬剤師として関わる領域が、かなり幅広いということを感じました。そうした中で、地域の患者さんから顔を覚えていただけたということもうれしく、



励みになります」と話す。

業務の過程では、担当する在宅患者の担当者会議に参加した際、チーム医療に携わるスタッフがベテラン揃いの中で、薬剤師としての発言ができなかったという苦い経験もある。「やはり、在宅医療の現場では、薬剤師として1年目であろうと2年目であろうと、業務に関わる上ではスペシャリストとしての専門性が問われることを痛感しました」と斉藤さん。

今後、他の医療職種との連携も積極的に行うことで、薬剤師としてスキルアップしていきたいと展望する。

調剤薬局を目指す薬学生の後輩に向けては、「私自身もそうでしたが、長

地域の中で果たす役割重視

期実務実習の間に、自分の「なりたい薬剤師像」を決めておいたほうが就職活動の際にもスムーズにいくと思います。企業の地名度に左右される部分もあるでしょうが、薬局の現場の見学は、必ずしておいたほうがいいですね」とアドバイスする。

さらに、「薬局内での服薬指導もそうですが、在宅医療現場では、患者や他の医療スタッフに対して、経験に関係なく、1人の薬剤師としての責任が伴います。その意味で薬学の勉強はもちろんのことですが、コミュニケーション能力が

すぐく必要であることを感じています」と自身の経験を踏まえたメッセージを添える。

今後、薬局は地域の中で果たす役割が重要性を増してくる。そうした中で斉藤さんは、「『この人になら』と信頼される薬剤師を目指したい」と熱く語ってくれた。

兵庫・大阪を中心に29店舗展開中！～神戸・芦屋・西宮・宝塚・明石・加古川・姫路/大阪(梅田～なんば)・吹田・堺・高石～

2015 春卒業予定の薬学生様へ会社説明会のご案内



調剤はもちろん、セルフメディケーション、在宅も充実
薬局薬剤師のプロフェッショナル集団です！
☆あなたも健康コンシェルジュに☆



フタツカ薬局

株式会社 大新堂 〒655-0854 神戸市垂水区桃山台2丁目9-3 Tel 078-753-7530



会社説明会 開催予定日

- | | | |
|----------|-------------|------------------|
| 1月18日(土) | 15:00～17:00 | 会場：TKP三宮会議室 会議室2 |
| 2月23日(日) | 14:00～16:00 | 会場：神戸国際会館会議室 804 |
| 3月8日(土) | 15:00～17:00 | 会場：TKP三宮会議室 会議室2 |

特別企画

- ① 二塚社長による講演
社長の話を聞ける特別な機会です。
ぜひご参加ください！
- ② 大学OBOGとの交流会
薬局の話や就職について、なんでもご質問
お受けします！

お問い合わせは、採用担当 鍵谷(かぎたに)まで
<http://futatsuka-ph.co.jp/>